

みんなげんき

令和6年1月19日

心・体・命の学習が始まりました

たくさんの命の出会いをくりかえして、今ここにわたしがいます。世界でたった一人しかいない自分。そのかけがえのない命を大切に、自分らしく生きていくために、心と体と命の学習をします。



2024年、年の始めに能登半島で大きな地震が起こり、一瞬にして、尊い命やおだやかな日常が奪われてしまいました。被災地では、今もなお不便な生活を送っておられる状況です。

わたしたちは、おうちの人や友達といつもどおりの生活ができています。大切な命が守られています。そのことをしっかり受けとめながら、日々すごしていきたいと思えます。

心・体・命の学習では、これまで以上に命の大切さやすばらしさを感じ、自分の命はもちろん、おうちの人や友達の命も大切にできる心を育ててほしいです。

こんなことを学習するよ

1年

- わたしのからだ
- からだをたいせつに
- おへそってなあに
- ぼく、わたしがうまれたとき



2年

- 大きくなるからだ
- 赤ちゃんのたん生
- これまでのわたし
- これからのわたし(生活科)

3年

- 体のしくみとはたらき
- 命のはじまりとつながり
- 自分のよさ、友だちのよさ
- 気持ちの伝えかた



4年

- 育ちゆく体(保健学習)
- 思春期にあらわれる変化
- 心の変化
- 命のもと
- よりよく成長するために

5年

- 大人に近づく体
- 心の発達(保健学習)
- 脳の働きと心
- 性と社会
- 性情報を選択する力



6年 (6年間の総復習)

- 受けつがれる命
- よりよく生きる
- 性の多様性、自分らしさ
- 病気の予防・エイズ
- (保健学習)

女だから? 男だから?

性の多様性の学習もするよ



「女だから」「男だから」と言われて
好きなことや、やりたいことができなかつたことはありませんか?
絵をかくこと、歌をうたうこと、スポーツをすること…
大好きなことは、女の子、男の子に関係なくて
みんな、その人らしさを持っているよね
お互いが「その人らしさ」を認めあうことが大切だね



京丹後市 男女共同参画冊子より

好きなものや、なりたい自分、なやみも一人ひとりちがいます。自分と他の人はなにがちがうだろう? 自分らしさ、その人らしさについて考えてみよう。

おうちの方へ 裏面をご覧ください。

本校の 心・体・命の学習（性に関する教育）

＜目標＞ 性に関する教育を生命の尊厳や人権尊重を基盤とした人間教育ととらえ、生と性について主体的に考える態度を養う。

＜心・体・命の学習
ーめざす児童像＞

自分の命を大切に
他の人の命も大切に
お互いを大切に
関係を作っていく

＜学年別導内容＞ 前面の通り

かけがえのない命を大切に、自分らしく生きていくための学習

子どもたちと接していると、命を軽んじる言動ややられてもすぐに生き返るようなゲームに夢中なるなど、命（生と死）をどう受け止めているのか不安に感じることがあります。また、性に関する興味本位な情報が、子ども達のすぐ手の届くところにあふれている状況でもあります。このような環境の中で成長していく子どもたちだからこそ、自分や他の人の体・命の大切さや尊さを真剣に考える学習が必要です。



また、子どもの中には自分の体や感じ方に違和感を抱いている児童もいます。どの学年においても性の多様性(性的マイノリティー)について意識しながら指導を行うことが大切だと言われています。身体の性と心の性は必ずしも一致するものではないなど、「性的マイノリティー」に対する理解を深める学習ですが、性の多様性に限定せず、「自分らしさ」「その人らしさ」を大切に学習にしたいと思います。

どのように生まれてくるかは選べなくても、どのように生きるかを決めるのはその人自身です。

心・体・命の学習を通じて、今、生きていることのすばらしさを感じ、自分の体や命、そして友達や周りの人も大切にして生きていこうという気持ちを育てたいです。そして、どの子も自分らしく、豊かな人生が送れることを願いながら、心・体・命の学習を進めていきたいと思っています。

心・体・命の学習公開授業（2・4・6年）…1月23日（火）2校時

※どのような学習をしているのか、ぜひ参観してください。

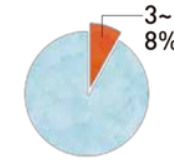
多様な性の学習 = 「自分らしさ」「その人らしさ」を大切にする学習



身近に傷ついている人が
いるかもしれません

民間の調査等によると、日本における性的少数者（マイノリティ）は、人口の3～8%程度おられるということです。

1クラスに1～3人
くらいの割合です。



「性」のかたちはいろいろです。顔や声、好きな色や好きなことが人によって違うように、私たちが好きになる性も、表現したい性も人それぞれ違います。違うことはあたりまえのことなのです。どのように生きて、誰を好きになってもいい、女や男だけでなく自分らしく生きることが大切だと思います

多様な性の学習は、多様な性そのものへの理解はもちろん、すべての子どもが「自分らしさ」「その人らしさ」を大切にできるようになるための学習です。

性(セクシュアリティ)は多様

世の中ではかつて、「男性」と「女性」の2つの性別しかない認識されていました。しかし、人間の「性の在り方、性に関わる様々なこと(セクシュアリティ)」は、たった2つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。セクシュアリティは非常に複雑かつ、多様なのです。

性のあり方には、身体の性以外にも様々な要素があります。

- 身体の性（からだの性）
- 性自認（こころの性）
- 性的指向（好きになる性）
- 表現したい性（らしさの性）



これらの構成要素が複雑に関わり合っ、個人のセクシュアリティは形成されています。セクシュアリティはいわばその人の生き方であり、個人の尊厳に関わる大切な問題です。誰もが自分のセクシュアリティを尊重され、自分らしく生きることができる社会。そんな社会をみんなで作っていくことが求められています。